

和田とくお



昨年末に中国で発生した新型コロナウイルス感染症の全国的な拡散は、未だその発生源やウイルスの実体、特効薬も作り出せない状況の中で、明確な終息の見通しが立たないまま数ヶ月が過ぎようとしています。

2月11日、WHOは「パンデミック」状況にあると表現、13日には米国が「国家非常事態」を宣言、同日、日本も遅ればせながら「新型インフルエンザ等対策特別措置法」を改正しました。静岡県内に

感染者の存在が確認された2月下旬以降、県もその感染拡大防止への様々な対策を講じつつ、一方で社会全体の活動の停滞が長引くことによる経済的な打撃への対処策も打ち出しました。2020東京オリンピック・パラリンピックの開催も懸念される中、冷静かつ沈着に、それぞれの立場でできること、為すべきことに全力を傾注しようではありませんか。

議会2月定例会

県議会2月定例会

2月定例議会は、2月20日～3月18日の間開催、今議会は、①昨年の台風被害復旧を一日でも早く執行するため、関連の補正予算を最終日を待たずに開会2日目に先決したこと。②刻々と状況が変わっていく新型コロナウイルス感染症に対する県としての対策について、知事自ら質疑の前に二回も発言したこと。③昨年末の知事発言について、「ゴメンナサイ」と本会議場で謝ったこと。④議会最終日、R2年度予算案を可決した後、緊急性を有する新型コロナウイルス感染症に対応するための補正予算を成立させる等、やや異例の展開で定例会を閉会しました。



文教・警察委員会

今期委員会は、新型コロナウイルス感染症への対応について、まず集中審議という形で実施した後、R2年度予算を含む所管事項について審議しました。教育委員会（学校）、警察それぞれの新型コロナウイルス感染症対策については、いずれも情報の共有を前提としながら他の関係部局、自治体等と連携を取りながら、感染の拡大防止策について重点的に審議し、県民の安全・安心を確保するという強い思いの中で対応していくことを確認しました。



台風19号の対応で延期していた委員会の視察を、1月中旬に、東京（警備のセコム研究所）、沖縄（美術館）で行いました。



議会運営等改善検討委員会



今期委員会では、①本会議での質問項目に対する答弁者の発言順序、②質問者と答弁者の立ち位置、③委員会視察記録のインターネット公開、④請願の取り扱い基準の再検討、⑤政務活動費の額の見直し等について、各会派の検討結果を持ち寄り検討した結果、視察成果の公開は直ちに行うとした以外は、現行通りで運営することになりました。

「JR・私鉄沿線市町利便性向上対策連絡会」の活動



2月10日、「連絡会」は、衆議院議員会館の会議室で、静岡、神奈川の国会議員等、県関係者及び鉄道関係者36名で会議を開き、オリ・パラに向けた輸送力の増強、駅の混雑解消措置、交通系ICカードのまたぎ利用、障がい者への対応、無人駅の利便性向上等について意見交換しました。



県監査委員としての活動

月	日	監査部署等
1	16	静岡商業高校 中部健康福祉センター
	23	伊東高校 伊東商業高校
	27	委員協議（包括外部監査）
	2	13
14		下田財務事務所
25		委員協議（定期監査結果）
3	12	県公安委員との意見交換 知事、副知事との意見交換
	19	委員協議（定期監査結果） 委員協議（包括外部監査）



東京オリパラ自転車ロードレース関連陳情

橋本聖子オリ・パラ担当大臣



1月22日、吉川代議士、市長等と共に、自転車ロードレース競技開催に関する支援、特にレース開催時の交通輸送対策・沿道観戦者への対応について、橋本担当大臣に陳情しました。大臣からは、要望についてできる限りの支援を行う旨の言葉を頂きました。

橋本聖子オリ・パラ担当大臣

2市1町行政懇談会



2月6日、御殿場市、裾野市、小山町の首長が一同に会し北駿地域の行政連携に関し意見を交換する行政懇談会が開催され、2020東京オリパラ開催からレガシーへ繋ぐ広域連携の取り組みについて意見交換しました。



土地改良議連



1月14日、農業農村整備事業の現地研修を、袋井市のかんがい排水、水田水管理ICT実証研究、三方ヶ原用水、三ヶ日みかん選果場で行いました。

各種視察

森林・林業活性化議連

熊本県森林組合連合会



外山木材



2月3～5日、木材の増産と需要拡大の先進例を研修するため、熊本県森林組合と宮崎県の民間木材会社を研修しました。県の「林業イノベーションの推進」の参考となりました。

地震・津波対策議連



2月17～18日、南海トラフ巨大地震の被害想定自治体でもある和歌山県の「津波から逃げ切る支援対策プログラム」等を研修、情報伝達の多重化は参考にします。



令和2年度、北駿地域関連予算要望の成果概要

会派(自民改革会議)の知事折衝



◎ 豊かな暮らしの実現

県全体で、生活環境整備事業280億円 プラス、水門・護岸等の施設長寿命化対策等50億円を確保



アクセス道路 (仁杉柴怒田線)

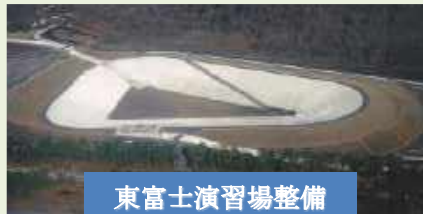
- 新東名、R138バイパスの建設促進
- 新東名アクセス道路の建設促進 (仁杉柴怒田、469バイパス)
- 小山町(菅沼)の道路改良
- 須走登山道の維持・管理
- 東富士演習場周辺整備 (29か所)
- 農地整備 (高根・中清水)
- 畑地帯担い手育成 (アグリふじおやま)



R138バイパス



小山町菅沼



東富士演習場整備



アグリふじおやま

◎ 観光地域づくり

- オリンピック自転車ロードレースコース約42kmの舗装補修
- 自転車走行空間整備
- コース沿線景観整備



自転車ロードレース



景観整備

◎ 危機管理 (災害対応)

- 黄瀬川の河道拡幅・伐木 (御殿場市神山、裾野市佐野)
- 野沢川の河床掘削 (小山町柳島)
- 治山 (須走・北郷・竹之下等)



黄瀬川 (神山)



小山町北郷地区 (治山)



野沢川

◎ 教育・人づくり

- 高等学校の普通教室への空調設置 (R3夏予定)
- 私立高等学校等授業料減免
年収590万円以上700万円未満の世帯
→国支援額と合わせ年額396千円まで助成

◎ 子育て・医療・福祉の充実

- 東部発達障害者支援センターの運営
- 少子化対策の優良事例や先駆的な事例に取り組む市町を支援
- 高根駐在所の建て替え

政務調査活動報告

期間内の主な活動

1月	6日	小山町賀詞交歓会、会派新年会
	7日	富士学校成人式、東部農林との意見交換
	8日	御殿場JA新年挨拶会
	9日	御殿場経済交流会
	10日	県警視閲式、隊友会新年会
	11日	小山町消防出初め、銃剣道連盟新年行事
	12日	御殿場市消防出初式、市成人式
	14日	土地改良議連県内視察(浜松)
	15日	委員会県外視察(東京)
	16日	監査(静岡高)、JC賀詞、行政書士会賀詞
	17日	団交友会賀詞
	18日	板妻駐屯地賀詞
	19日	小山町一周駅伝大会
	21日	議員総会、小山町商工・観光・企業懇賀詞
	22日	オリ・パラ担当大臣への陳情、滝ヶ原駐屯地賀詞
	23日	監査(伊東高、伊東商高)
	24日	R2予算編成ヒアリング、県行政書士会意見交換
	26日	市議会議員選挙告示
	27日	監査(監査結果協議)
	31日	議員総会、R2年度予算知事折衝
2月	1日	小山町シニアクラブ芸能発表会
	2日	市議選投票開票日
	3日	林業活性化議連県外視察(九州)
	4日	林業活性化議連県外視察(九州)
	5日	林業活性化議連県外視察(九州)
	6日	2市1町行政懇談会
	7日	2月議案説明会、議員総会及び勉強会、空手新年会
	8日	女性の会、富岳保育園発表会
	9日	日本拳法大会
	10日	鉄道系ICカード議連意見交換会(東京議員会館)
	11日	御殿場市表彰式
	12日	東部宅建協会との意見交換会
	13日	県監査(賀茂農林事務所)
	14日	県監査(賀茂健康福祉センター、賀茂財務事務所)
	16日	オリ・パラ200日前イベント
	17日	地震津波対策議連県外視察(和歌山)
	18日	地震津波対策議連県外視察(神戸)
	19日	高根塚原土地改良区総会
	20日	2月定例県議会(初日)
	21日	2月定例県議会、#3議会運営改善検討委員会
	22日	観光協会案内所開所式、自衛官相談員役員会
	24日	自衛隊入隊予定者激励会(市)
	25日	県監査(監査結果等協議)
	27日	2月定例議会(代表質問)
	28日	2月定例議会(代表質問、一般質問)
3月	2日	2月定例議会(一般質問)
	3日	2月定例議会(一般質問)
	4日	2月定例議会、#4議会運営改善検討委員会
	5日	2月定例議会(一般質問)
	6日	県特別支援学校高等部卒業式
	9日	文教警察委員会
	10日	文教警察委員会
	11日	県議3期生会同
	12日	県監査(知事、公安委員との意見交換)
	14日	事務所にて政務調査
	15日	県銃剣道連盟理事会
	16日	追加議案説明
	18日	2月定例議会(最終日)
	19日	県監査(監査結果協議等)
	24日	県議3期生会同
	28日	東名高速駒門スマートIC開通式



雑感 「初動全力」、これは危機管理における重要な対応要領とされています。戦後の日本の危機管理の対応は、「最悪の状況に備えて平時から準備をしておく」というやり方ではなく、「事が起こってからそのことに対応する」というやり方、所謂対処療法で対応してきました。今回の新型コロナウイルス感染症への対応も、相変わらず従来の対応要領から抜け出せず、結果として逐次の後追い対策が多く見られ、加えて何が正しいのか判断できないような情報の氾濫も社会不安を起こしているように見えます。静岡県立大学特任教授の小川氏は、『孫子』の「巧遅は拙速にしかず」という教えが危機対応では重要と説き、どんなに完成度の高い対策や法律制度であっても、必要なタイミングに間に合わなければ意味がないと言っていますが、官僚機構でガチガチの日本ではなかなかうまくいかないようです。今回のこの困難な課題に、私も冷静に対処しながら乗り越えていきたいものです。

静岡県議会議員 **和田とく** お事務所ご案内
 〒412-0025 御殿場市二の岡 1-4-8
 Tel: 0550-84-2590 FAX: 0550-70-7366
 メール: wada@ca.thn.ne.jp
 ※自民改革会議ホームページ (<http://www.jimin-kk.com>) も併せてご覧ください。
 ご意見、ご要望をお待ちしています。

